ニセモノ・まがい物護身用品とは具体的にどういう物か

現在、日本国内では護身用品としての機能・目的を果たさないニセモノ・まがい物の護身用品が流通しており社会問題となっています。これらのニセモノ・まがい物護身用品は護身用に使用できるという偽りの説明で販売されていますが、実際には護身のために目的を達する性能のない紛い品です。ニセモノ・まがい物護身用品の流通による社会的被害は深刻化しており、日本護身用品協会としてここに警告します。

日本護身用品協会の製品基準

日本護身用品協会では本当に護身のために使用できる製品の性能基準を、以下の通り明確に定めています。護身用品を使用するユーザーが確実に身を守るため、製品基準は重要です。

日本護身用品協会の製品基準は、ユーザーが護身用品を正しく判断するためになくてはならない指標であり、世界で唯一の責任ある基準です。

１．スタンガン

1-1.以下の仕様が公開されている事

a.使用電圧

b.放電（スパーク時の）電圧

c.使用電流

d.放電（スパーク時の）電流

e.消費電力

f.周波数

g.新品電池におけるスパーク可能時間

h.新品電池における未使用時装着可能期間

1-2.放電電流が 3mA 以上である事

1-3.空中スパークが可能である事

1-4.人体に致命傷や後遺症を与えない事

1-5.3 年間（業務用は 1 年間）の完全保障である事

1-6.製品にシリアル No があり保証書とともにシリアル No で管理されている事

1-7.カーボン複写式の保証書があり販売者が控を保管管理できる事

1.8.製品本体に出力電圧が明記されている事

1-9.製品本体に高電圧危機である警告が表示されている事

1-10.製品に改造禁止の措置が講じてある事

1-11.製品に正規流通品である証明措置（ホログラムラベル等）がとられている事

1-12.製品が PL 保険「支払限度額（対人・対物共通）／少なくとも保険期間中 5 億円以上」に加入している事

２．催涙スプレー（対人用、熊等動物用共通）

2-1.使用有効期限及びその根拠が明確である事

2-2.使用有効期限が製品に表示されている事

2-3.販売時点で有効期限が 2 年以上確保できている事

2.4.有効期限の期間中は製品を完全に保証する事

2-5.OC が主成分である事・OC（正式名を Oleoresin Capsicum オレオレシン・カプシウムと云う。）・唐辛子などから抽出する辛味（刺激）成分で天然物質。

2-6.2oz 以上の製品には高圧ガス保安法に基づく表示ある事

2-7.AOACI による成分検査証明書を協会に提出できる事

2-8.AOACI の検査結果の SHU 値が 10 万 SHU 以上である事（軍事仕様は最大で十万台、食品仕様は最大で百万台で SHU 表示すること。）

2-9.製品が PL 保険「支払限度額（対人・対物共通）／少なくとも保険期間中 5 億円以上」に加入している事

４．全製品共通

4-1.使用方法、使用上の注意、保管方法、禁止事項など十分に記載されたメーカー発行の日本語取扱説明書が添付されている事

4-2.取扱説明書によってメーカーへの連絡手段をユーザーへ提示している事

4-3.メーカーは日本語でカスタマーサービスが行える事

ニセモノ・まがい物護身用品の存在

日本国内ではニセモノ・まがい物の護身用品が数多く流通しており注意が必要です。

■ **例えば、消火性能の無い消火器や防火性能の無い防火製品などを一流製品ですと誇大広告で騙し売りすることと同じです。**

これらの護身用品は本来の性能とはかけ離れた誇大広告のもと販売されており、騙されて購入するユーザーが数多く報告されています。ただ単に売れれば良いとするモラルのない販売業者が深く関わっており、これらの業者は本来の性能や威力を検証する事もなく、製品の性能に責任を持つ事もありません。こういった業者が販売する護身用品は、騙されて購入したユーザーに大きな危険を与えます。万が一の時に本来の威力を発揮しない護身用品は、危険を回避できないばかりでなく、状況をさらに悪化させる可能性があります。

ニセ物販売業者は海外で売れ残った安い護身用品を仕入れ、性能面での何の裏付けも検証もないまま儲け主義だけのために販売しています。スタンガンはオモチャ同様の低品質で壊れやすく、催涙スプレーは低性能・低威力である海外現地の売れ残り品を買いあさりたたき売りしています。

ニセモノ・まがい物護身用品は万が一の際には全く役に立たないオモチャ同様の製品です。ただ単に安いというその点だけで、ニセモノ・まがい物護身用品は日本国内の護身用品ユーザーを大きな危険に晒しています。

ニセモノ・まがい物護身用品の背景

なぜ日本国内にニセモノ・まがい物護身用品が蔓延するのか、その最大の理由は護身用品など特にスタンガン・催涙スプレーに関する法律が無いからです。ニセモノ・まがい物護身用品はバッタ品ですので価格が安いのも当然です。なぜならニセモノ・まがい物護身用品は海外ではオモチャであったり、処分価格の長期在庫売れ残の品なので格安で入手できるからです。これらを日本国内に持ち込み、あたかも本物の護身用品であるかのように宣伝し高額で販売しているのがニセモノ・まがい物護身用品です。これは詐欺商法そのものです。

ニセモノ・まがい物護身用品は安く感じるかもしれませんが、その性能と信頼性を考慮すると常識を逸した高額で販売されているのが実情です。さらに長期在庫品処分の買い受けのような製品は日本では中古品と同じです。粗悪な中古品を高額で販売しているのがニセモノ・まがい物護身用品の販売業者なのです。当然ながらこれらの業者にはメーカー不明のオモチャか在庫処分品しか入手する事ができないため、特に催涙スプレーなどは米国大手のメーカーとは直に取引が出来ない業者が多く存在します。従って性能や品質の担保や性能の保証や裏付けが困難なのです。

ニセモノ・まがい物護身用品はジョーク商品として販売されるのは問題ありませんが、消費者を騙して本物と偽り販売されている以上は、危険回避のため本物の護身用品を必要とするユーザーにとって非常に危険な存在です。

■ **特にアメリカで販売されているスタンガンはスパーク（放電）の威力も弱くベッドで寝ている人を起こす時に「パチッ」と接触させる。などオモチャとしても使われています。**

ニセモノ・まがい物護身用品の特徴

日本護身用品協会から製品認定を受けるには、確かな性能と根拠が証明されており、その性能が護身用として使用可能である事が最低限必須の要素です。さらに万が一に備え、製品は PL 法（製造物責任法）においてユーザーが製品に起因する損害を被った場合の損害賠償を行う PL 保険に加入しておく必要があります。ニセモノ・まがい物護身用品は護身用として使用できる性能・威力がありませんし、PL 保険への加入もありませんので当然ながら日本護身用品協会に認定されません。

２．根拠のない誇大広告（関連の法令が無いので、それこそやりたい放題なのです。）

ニセモノ・まがい物護身用品は本来オモチャとしての品質しかありませんが、「世界最強」「世界中で使用されている」「軍事用」などと根拠のない宣伝文句を謳い販売されています。その特徴は全て一貫しており、根拠が皆無という点です。第三者機関による化学分析データや信頼に足る実証結果がありません。ただユーザーを騙し、さも高性能だと思わせる宣伝文句で騙し販売を行っています。

３．曖昧な保証内容（特にスタンガン・催涙スプレーなどです。）

ニセモノ・まがい物護身用品であっても保証が付いている製品が存在します。しかしその保証内容は曖昧であり、明確に規定されたものではありません。これは商品そのものがオモチャであり壊れやすいため、実際に保証対象事例が発生した時にいろいろと言い訳をして保証を行わないための布石です。スタンガンの故障は特に素人にはわかりにくいような症状もあり、その結果ニセモノ・まがい物護身用品の販売業者に言いくるめられて泣き寝入りとなる可能性があります。ニセモノ・まがい物護身用品は具体的な保証内容を曖昧にする傾向にあります。

４．メーカーが明確でない（スタンガンなどです。）

ニセモノ・まがい物護身用品のスタンガンの多くはメーカが不明です。どこの国のどういった名前のメーカーなのかが定かではなく、その製品の信頼性を推し測る事が出来ません。これはメーカーが判明するとユーザーをうまく騙せないという強い意図が感じられます。スタンガンはメーカーが伏せられたままパッケージには根拠のない電圧などが表示されており、ユーザーがその電圧や性能の裏付けを調べる術はありません。ニセモノ・まがい物護身用品販売業者の思うがままになってしまっています。

５．専用の製造ラインがない（催涙スプレーなどです。）

製品が海外で製造される事は、昨今の国際社会情勢を鑑みると珍しい事ではありません。日本護身用品協会の認定品でも海外製造の製品が存在します。問題は日本メーカーが日本国内用として責任を持って製造し、品質を管理しているのかです。ニセモノ・まがい物護身用品は海外でオモチャとして流通している製品ですから、当然ながら責任を持って製造管理するメーカーもなければ、日本向け専用ラインも存在しません。

ニセモノ・まがい物護身用品のリスク

１．効果が弱く役に立たない

スタンガンの電圧表記には根拠がなく販売業者の思うがままです。実際これらのニセモノ・まがい物スタンガンには相手を行動不能にする性能がありません。性能が十分ではないスタンガンは相手の動きを封じる事ができないばかりか相手を逆上させる恐れもあり大変危険です。催涙スプレーの性能では催涙成分の濃度（実効 SHU 値）が最も重要な指標ですが、TMM 社が第三者機関（AOAIC・米国）で化学分析を行ったところ、ニセモノ・まがい物催涙スプレーの成分濃度は非常に薄く、性能面弱すぎて危険である事が判明しました。　※詳しくは後述の催涙スプレー比較表参照

２．生産ライン・製造日・信憑性の問題

日本向け専用ラインを管理している日本メーカーの催涙スプレーは、製造工程を管理しているため製造日及び有効期限が明確であり長期間の運用が可能です。しかしニセモノ・まがい物の催涙スプレーは長期在庫の処分品であり、有効期限の表示のない物もあります。催涙スプレーボンベの圧力規定においても日本国内の法律に準拠しているのか疑問が残ります。催涙スプレーは構造上、製造日から年数を経るごとに内部圧力が低下し噴射性能が低下します。ニセモノ・まがい物催涙スプレーは長期在庫のため有効期限が短いばかりでなく製造日自体の信憑性が低いので、実際に使用する際には噴射力低下の恐れがあり危険です。

３．保証

明確な保証規定がないまま販売されているため、故障時などにその原因が販売業者に起因するものなのかユーザーに起因するものなのかが定かでなく、結果として業者の様々な言い訳を許してしまい、十分な保証を受けられない可能性があります。

４．PL 保険

万が一製品に起因する損害が発生した場合、メーカーがその損害を保証するとした法律が製造物責任法（PL 法）です。ニセモノ・まがい物の護身用品は PL 保険に加入していないため損害賠償を受けられない危険性があります。

官公庁における問題

１．価格重視の問題性

官公庁における備品の調達は過去の調達仕様に沿う形態での競争入札（指名入札を除く）では、多くがニセモノ・まがい物護身用品で占められています。官公庁における競争入札における最安値の備品基準がこのような結果を招いたと思われます。その結果、品質・性能は不問とされており現実問題としてニセモノ・まがい物護身用品が納品される状況が続いています。官公庁で調達するべき護身用品は信頼性と性能が重視されるべきであり、最低限でも日本護身用品協会の認定品を条件とすべきです。日本護身用品協会としてここに警告します。

２．協会認定品である必要性

日本護身用品協会の認定品は性能・威力が客観的に検証され、前述の製品基準をクリアしています。公官庁の護身用品は本当に使用できる本物の護身用品である必要があります。特に近年は日本近隣においても国際状況が不安定になりつつあり、これらの情勢下において護身用品は安全確保のための大きな責任があります。公官庁の認識不足・知識不足におけるニセモノ・まがい物護身用品の調達は日本国民にとって看過できない大きな問題です。

ニセ物・まがい物スタンガン

■ニセ物・まがい物スタンガンを詳しく説明するため日本国内唯一の業務用（プロ用）スタンガンのメーカー（株）ティエムエムトレーディング社の承諾を得て商品名を含むデータを公表します。尚このデータは TMM 社技術部のスタッフが実際にスタンガンの電気ショックを体験して得られた貴重な実験データです。

下記の「TMMスタンガンと他社スタンガンを実際に人体に接触させた時の威力･ショック度に関する性能比較データ」をクリックするとTMM社の詳細ページが表示されます。

TMMスタンガンと他社スタンガンを実際に人体に接触させた時の威力･ショック度に関する性能比較データ

TMM社詳細ページを見る

1. TMM社による実際の人体接触実験に基づき、当該データを作成しましたが、あくまでTMM社の評価・実験基準での公表ですので、他社スタンガンの威力・性能・ショック度を証明・保証するものではありません。

2. 当該データはTMM社以外の他社スタンガンに関して断じて誹謗中傷や貶めるものではありません。

3. これらのデータ公開の最も大きな理由は他社スタンガンの販売業者が、これらのスタンガンを「護身用スタンガンと称して」販売しているにもかかわらず、実際に接触させた時の電気回路仕様（正確なボルト・アンペア・ワットなど）や威力・ショック度を詳細に説明していないために、これらのスタンガンを購入した消費者からTMM社への相談が相次ぎ、その都度TMM社で理解できるまで説明し対応して来ましたが、連日多くの相談・問い合せがあり大きな負担になって来たことによるものです。

4. 護身用品の販売に際しては「人の生命を守る大切な製品」を販売させていただいている。という倫理観・使命感が不可欠ですが、微塵も感じさせない横着で消費者を見下した販売姿勢で「販売者の説明責任」を果たしていないことが当該データ発表の要因である。とご理解ください。

5. 現在ではTMM社の護身用品に関する販売姿勢や企業倫理・詳細な製品仕様の説明などが国内世論の大半から指示を受けていることを「ピンボケ業者」は聞こえないふりをしているだけです。

6. 最終的には、このような護身用品の性能や威力を正確・詳細に説明せずに曖昧で何一つ事実に基づいた数値なども公表しないで「かなり凄い！」とか「一流とか」、「世界最高とか」の修飾語を多用して誤魔化す販売方法は日本市場では一切通用しなくなる日が遠からず、必ず来ます。

7. 現在、護身用品（スタンガン・催涙スプレー・特殊警棒など）は製品の性能・品質・保証制度などに関する法律・行政指導等や護身用品業界を監督、指導する団体、協会、組合なども一切有りません。ですから何の規制も無い無法状態のやりたい放題なのです。

8. したがってスタンガンのボルト表示もそれぞれのメーカーの思惑や販売戦略に基づく個々の考え方でやりたい放題です。

9. 現在、日本で流通しているスタンガンでボルト表示の方法別に分類すると二つのグループに分けることが出来ます。

- TMM社製と台湾製スタンガンは設計上の電気回路に基づきそのまま正直にボルト表示しています。
- 前者以外の韓国製や韓国などで製造されてアメリカ市場で流通しているスタンガンは商品価格や価値を意図的に吊り上げる目的で実際の性能・威力と一切関係ないところで実際の設計上の電気回路のボルト表示の3倍から4倍も高いボルト表示を「商品名」として名付けています。
  ・ブラックイーグル・ZAP・エスコートライト・バトンなどです。

10. TMM社は日本国内で発生するスタンガンを使用した刑事事件などで警察・検察・裁判所からの要請でスタンガンの専門家として事件に使用されたスタンガンの実際の性能や威力（電気ショック）の程度などの所見を提出し裁判で証拠資料として使用されています。

11. 特にTMMスタンガンの取扱い説明書はスタンガンの性質を説明する解説専門書として非常に高い信頼を得ており、全国の検察・裁判などで使用されています。

12. TMM社は今後護身用として役に立たない（使用すると危険な状態になる。）「ニセ物スタンガン」を騙されて購入
したために悲惨な事件が生じた場合は積極的に被害者保護の観点から販売業者に対して販売者責任を追及出来るよう支援しますので、万一当事者となった場合はTMM社にご相談ください。

13. 特に販売業者が護身用品としては使用出来ないか又は使用すると防御性能・威力が無いか弱いためにあえて使用すると更に危険な状況になる可能性があるニセ物スタンガンを「護身用」として販売した場合は明確な販売者責任を問えますので、損害賠償請求など弁護士と共にスタンガン専門家としての立場で支援します。

▪アメリカで販売されているスタンガンが日本市場では「三流スタンガン」になる理由。

1. TMMスタンガンは韓国、アメリカ合衆国でスパーク時の強烈な威力・ショック度を生み出す主要な電気回路の基本特許を取得済みですので、当然アメリカ国内で販売されるスタンガンもTMMスタンガンの特許権利に関係・抵触する電気回路を生産・販売することが出来ません。
したがってスタンガンの強烈な威力・ショック度を生み出す設計上の重要な部分の大半がTMMスタンガンの特許に抵触することになり真似できません。これらの条件によってアメリカでは威力・ショック度の弱い玩具のスタンガンが主流になっています。（ならざるを得ないのです。）

2. 日本の悪徳業者の中には「アメリカ製スタンガン」・「アメリカから輸入したスタンガン」・「アメリカで高い評価を受けているスタンガン」などと、ことさらに「アメリカ」を過大評価・宣伝して何とか売ろうとしていますが、それらのほぼ100％が韓国・台湾などで生産されています。100％純粋なMADE IN THE U.S.Aは皆無です。

3. 現在、アメリカで販売されている「ＺＡＰスタンガンなど」も我々が表現するニセ物・紛い物スタンガンの三流業者です。主にアメリカ市場に安かろう・悪かろう・壊れ易かろうのスタンガンを売っています。ただし米国ではこの品質レベルがスタンダードです。ですから米国仕様のスタンガンは日本では大半が三流の粗悪品質になります。また偽りのボルト（Ｖ）数値だけを表示してアンペア（Ａ）、ワット（Ｗ）などは一切公表しません。
これは公表しないのではなくて出来ないのです。公表するとボルト（Ｖ）以外のアンペア（Ａ）ワット（Ｗ）などは計測可能です。そしてボルト表示に見合う威力・ショック度が無いことがはっきりと分るからです。ですから非公開にしてボルトの高さだけで、この位の高いボルトであればきっと威力もあるだろう。と消費者に勝手に想像させて（騙して）販売しているのです。
また、殆どのスタンガンの販売価格帯はアメリカ市場では６０ドル～８０ドル程度で保証交換も１年間保証も付きません。使い捨ての商品です。その方が売れるのでスタンガン市場の動向に沿って安価でそれに見合った低品質の安売り市場になってしまいました。（TMMスタンガンの特許の影響もあります。）

4. ですから米国のスタンガン販売業者はＴＭＭ社のように３年間保証や無制限の保証期間内、新品交換保証制度など、まったくとんでもない保証で笑いが出る。と驚きます。これは米国と日本の護身用品の捉え方、位置づけ、重要度、文化の成り立ちの違いなどけん銃を所持出来る国柄との格差です。日本人の護身用品に対する期待を含めた品質・性能・保証制度への要求度合も米国と比較すると格段に大きな差があります。
ＴＭＭスタンガンは日本市場、特に業務（プロ）用として、これらの要求を３０年の歳月を掛けて少しずつ完成させて来たことで、現在では性能・品質に米国とのレベルに大きな格差が生じて来ました。家電製品、自動車などと同様の流れです。現在では米国仕様のスタンガンをそのまま日本に輸入しても品質・性能で消費者の要望と満足度にとても対応出来ません。耐久性も（壊れ易いので）弱いのでＴＭＭ社のように保証内容も充実したものに出来ません。

5. また何故「ニセ物・紛い物のスタンガン」とＴＭＭ社が決め付けるのかと云うとボルト（Ｖ）表示が実際の性能・威力とはまったく関係のない偽りの１２０万ボルト（Ｖ）などと表示しているからです。更にＴＭＭスタンガンの威力・ショック度と比較すると何分の一程の弱い威力・ショック度しかないことを良く理解しているにもかかわらず公表せず隠して売っているからです。
これは商品価格・価値を作為的に吊り上げようという品質・性能とはまったく関係の無いネーミング(商品名の付け方）によります。これに消費者が騙されます。販売店もこれらのＺＡＰスタンガンがＴＭＭ社の同じクラスのスタンガンと比べると段違いで威力が弱いことを十分に知っていますが、それは隠して販売しています。これらのことはＺＡＰスタンガンに限らずＴＭＭ社以外のすべてのスタンガンに共通して云えることです。

6. すでに現在の日本はＴＭＭ社の表示ボルトの威力・ショック度がスタンダード（基本）になっていますので、これらのＺＡＰスタンガン等は日本では悪意でボルト数値を吊り上げて売っているニセ物・紛い物スタンガンになるのです。
ＺＡＰスタンガンは同じクラスのＴＭＭスタンガンの威力・ショック度と比較すると三分の一から四分の一程度の威力・ショック度でしか無いのが事実です。この事実はＺＡＰスタンガン等を販売する業者も良く理解していながら、公表せず隠して販売しているのです。ＺＡＰスタンガン等の販売価格にしても粗悪な性能・威力や、しょぼい保証内容から考えるとやはりボッタクリ価格、ＴＭＭスタンガンの３倍くらいは高い感じがします。

●**ＺＡＰスタンガン１２０万ＶはＴＭＭスタンガンでは凡そ23万Ｖの威力・ショック度に相当します。**と記載して販売するのであれば消費者も正しい判断が出来るので認めてやっても良いですが、そのような倫理観が芽生えること、販売する商品に対して絶対の正直さと誠実さが育つことを期待せずに待ちましょう。

護身用品（スタンガン･催涙スプレー･特殊普棒など)は製品の性能･品質･保証制度などに関する法律･行政指導等､日本工業規格（JIS）などはありません。唯一､民間団体の「日本護身用品協会」が販売自主規制を実施していますが､法的な強制力はありません。ですから協会加盟店以外の悪徳業者にとっては何の規制も無い無法状態のやりたい放題なのです。

専門知識が無い一般の消費者の皆様が偽物（にせもの)擬い物（まがいもの）のスタンガンや催涙スプレーに騙されないように性能･威力･保証制度などを理解し易いようにＴＭＭ社が自主的に取り決めたものです。ですからこれらの条件･定義のすべてをクリアしている製品を選択･購入すれば安心です。[全文を見る]

[おことわり]下記スタンガンは他社スタンガンでもあり、敢えて写真データ等の掲載は控えます。商品名・ボルト数値などで該当するスタンガンの比較データをご覧ください。

- 各スタンガンの人体接触時間は**0.1～0.5秒間**とします。実戦の場合は、最初の一撃でこの秒数以上に長く接触させることは大半の場合困難と思われますので、この秒数でのショック度を基本的なスタンガンの威力とします。また人体接触の部位は腹部とします。
- 普通、強盗・襲撃事件を犯そうとする人間や殴り合いケンカをしようとしている人間のそのときの精神状態は、平常時とは異なり、「**極度の興奮状態**」にあります。したがって、平常時では感じる「**痛み**」や「**苦痛を伴うショック**」も「**あまり感じない**」のが普通のことだ、と考えておかなければなりません。下記の他社スタンガンの効果は前述の「**極度の興奮状態になっている人間**」に対して、どの程度の効果があるかを考慮し実際のスタンガン接触による実験例に基づき作成しました。
- 今回の他社スタンガンの接触実験で再度確認したことはスタンガンのショック度の人体内部への影響（感電したときのような電気ショックの効果）が極めて浅いことです。これは護身用スタンガンとしては、重大な欠陥で人体皮膚（表皮）周囲は強いショック度（威力）があるものの人体内部の深部、筋肉組織まで届かないために、スタンガン接触による痛みはあるが、「極度の興奮状態」にある人間の運動能力を制御するレベルの実質的な威力（ショック度）が無いことです。このことは、即ち護身用スタンガンとして使用すると危険であると云うことです。

▪**表皮とは人体の皮膚表面のショック度を表します。**

商品名・表示ボルト数値	TMM社基準での凡そのボルト数値	護身用としての使用の可否	当該スタンガンの実質的な威力 ▪接触部囲：腹部 ▪接触時間：0.1～0.5秒
ZAPスティック　80万V	（表皮では35～40万V） **実質15～20万V**	不可	×まったく効果なし
ブラックイーグル　10万V	（表皮では8万V） **実質3～5万V**	不可	×まったく効果なし
ブラックイーグル　50万V	（表皮では35～40万V） **実質20～30万V**	可能と思われるがやや不安がある。	○やや効果がある
携帯電話型・アラーム付き　18万V	（表皮では10万V） **実質8～10万V**	不可	×まったく効果なし
携帯電話型・スタンマックス　60万V	（表皮では30万V） **実質20～23万V**	不可	×まったく効果なし
ドラゴン　75万V	（表皮では35～40万V） **実質20～23万V**	不可	×まったく効果なし
ファイヤーフライ　95万V	（表皮では30万V） **実質20～23万V**	不可	×まったく効果なし
ZAPナックル　95万V	（表皮では30万V） **実質20～23万V**	不可	×まったく効果なし
ブラックイーグル・ペンタイプ　50万V	（表皮では15万V） **実質12～15万V**	不可	×まったく効果なし
スタンマックス・ストロボライト付き　90万V	（表皮では30～40万V） **実質20～23万V**	不可	×まったく効果なし
ブラックイーグル　90万V	（表皮では40～50万V） **実質25～35万V**	可能と思われるがやや不安がある。	○やや効果がある
タイタン　62.5万V	（表皮では40～50万V） **実質40～50万V**	可能	◎効果がある
ブラックイーグル・ストロボライト付き　100万V	（表皮では40～50万V） **実質23～30万V**	可能と思われるがやや不安がある。	○やや効果がある
ブラックイーグル・ストロボライト付き　110万V	（表皮では40～50万V） **実質23～30万V**	可能と思われるがやや不安がある。	○やや効果がある
ZAPダブルトラブル　120万V	（表皮では30～40万V） **実質20～23万V**	不可	×まったく効果なし
三段式バトン・スタンガン SYT320-3ブラック　50万V	（表皮では40万V） **実質23～30万V**	バトンでは不可	○やや効果があるもののバトン部分が構造的に非常に弱いためバトンでは使用不可。
三段式バトン・スタンガン SYT320-1ブラック　20万V	（表皮では15万V） **実質15～20万V**	バトンでは不可	△あまり効果はない。バトン部分が構造的に非常に弱いためバトンでは使用不可。
エスコートバトン　90万V	（表皮では30～40万V） **実質23～30万V**	バトンでは不可	△あまり効果はない。 **写真データ・詳細説明などを見る。**
エスコートバトン・ストロボライト付き　90万V	（表皮では30～40万V） **実質23～30万V**	バトンでは不可	△あまり効果はない。 **写真データ・詳細説明などを見る。**

▪TMMスタンガンの粗悪な並行輸入品（ブラックコブラ・キングコブラ）の性能比較データは下記のページで詳細に説明に説明していますので本ページでの掲載は省略します。
ブラックコブラの並行輸入品にご注意下さい。
キングコブラの並行輸入品にご注意下さい。

▪表皮とは人体の皮膚表面のショック度を表します。

商品名・表示ボルト数値	TMM社基準での凡そのボルト数値	護身用としての使用の可否	当該スタンガンの実質的な威力 ▪接触部囲：腹部 ▪接触時間：0.1～0.5秒
ZAPスティック　80万V	（表皮では35～40万V） 実質15～20万V	不可	×まったく効果なし
ブラックイーグル　10万V	（表皮では8万V） 実質3～5万V	不可	×まったく効果なし
ブラックイーグル　50万V	（表皮では35～40万V） 実質20～30万V	可能と思われるがやや不安がある。	○やや効果がある
携帯電話型・アラーム付き　18万V	（表皮では10万V） 実質8～10万V	不可	×まったく効果なし
携帯電話型・スタンマックス　60万V	（表皮では30万V） 実質20～23万V	不可	×まったく効果なし
ドラゴン　75万V	（表皮では35～40万V） 実質20～23万V	不可	×まったく効果なし
ファイヤーフライ　95万V	（表皮では30万V） 実質20～23万V	不可	×まったく効果なし
ZAPナックル　95万V	（表皮では30万V） 実質20～23万V	不可	×まったく効果なし
ブラックイーグル・ペンタイプ　50万V	（表皮では15万V） 実質12～15万V	不可	×まったく効果なし
スタンマックス・ストロボライト付き　90万V	（表皮では30～40万V） 実質20～23万V	不可	×まったく効果なし
ブラックイーグル　90万V	（表皮では40～50万V） 実質25～35万V	可能と思われるがやや不安がある。	○やや効果がある
タイタン　62.5万V	（表皮では40～50万V） 実質40～50万V	可能	◎効果がある
ブラックイーグル・ストロボライト付き　100万V	（表皮では40～50万V） 実質23～30万V	可能と思われるがやや不安がある。	○やや効果がある
ブラックイーグル・ストロボライト付き　110万V	（表皮では40～50万V） 実質23～30万V	可能と思われるがやや不安がある。	○やや効果がある
ZAPダブルトラブル　120万V	（表皮では30～40万V） 実質20～23万V	不可	×まったく効果なし
三段式バトン・スタンガン SYT320-3ブラック　50万V	（表皮では40万V） 実質23～30万V	バトンでは不可	○やや効果があるもののバトン部分が構造的に非常に弱いためバトンでは使用不可。
三段式バトン・スタンガン SYT320-1ブラック　20万V	（表皮では15万V） 実質15～20万V	バトンでは不可	△あまり効果はない。バトン部分が構造的に非常に弱いためバトンでは使用不可。
エスコートバトン　90万V	（表皮では30～40万V） 実質23～30万V	バトンでは不可	△あまり効果はない。 写真データ・詳細説明などを見る。
エスコートバトン・ストロボライト付き　90万V	（表皮では30～40万V） 実質23～30万V	バトンでは不可	△あまり効果はない。 写真データ・詳細説明などを見る。

▪TMMスタンガンの粗悪な並行輸入品（ブラックコブラ・キングコブラ）の性能比較データは下記のページで詳細に説明に説明していますので本ページでの掲載は省略します。
ブラックコブラの並行輸入品にご注意下さい。
キングコブラの並行輸入品にご注意下さい。

催涙スプレー比較表

製品	TMM ポリスマグナム	TMM ネチュライザー	mace	FOX	カールホーネック	無名ブランド
※実効 SHU	181000	150000	82700	33200	15400	不明
有効期限	3～4 年	3～4 年	約 1 年	約 1 年	1～2 年	約 1 年
製造流通期間	製造後即時	製造後即時	海外長期在庫品（中古）	海外長期在庫品（中古）	海外長期在庫品（中古）	海外長期在庫品（中古）
製造ライン	日本向け専用ライン	日本向け専用ライン	既存ライン	既存ライン	既存ライン	既存ライン
保証	有効期限内無制限保証	有効期限内無制限保証	なし	なし	なし	なし
PL 保険	8 億円加入	8 億円加入	なし	なし	なし	なし

※上記実効 SHU 値は、日本唯一の業務用（プロ用）護身用品専業メーカーTMM 社依頼のもとアメリカの公認分析科学者協会（AOACI）によって分析検査された客観的な試験結果データに基づいています。

最後に

今回は日本を牽引する護身用品業界団体として、日本が直面しているニセモノ・まがい物護身用品の問題を警告しました。真の護身とは、正しい本物の護身用品だけが実現可能です。ニセモノ・まがい物護身用品の駆逐・差別化は今後も当協会が克服すべき最優先課題として捉え、日本国民に被害が及ばないよう全力を以て対応を続けて参ります。